

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	エポグラスL 主剤
供給者の会社名称	株式会社 エヌ・ワイ・ケイ
住所	埼玉県蓮田市根金1689-1
担当部門	技術部
電話番号	048-766-1211
FAX番号	048-766-4790
緊急時連絡電話番号	048-766-1216

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	金属腐食性化学品	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水性環境有害性 短期(急性)	区分2
	水性環境有害性 長期(慢性)	区分2
	オゾン層への有害性	分類できない

上記に記載がない項目は「分類できない」または「分類対象外」に該当

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	H315	皮膚刺激
	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H401	水生生物に毒性
	H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き	安全対策	P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入しないこと。
		P264	取り扱い後は手や顔をよく洗うこと。
		P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
		P273	環境への放出を避けること。
		P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置		P302+P352	皮膚に付着した場合、大量の水と石けんで洗うこと。
		P321	特別な処置が必要である(この製品のSDSの注意書きを参照)。
		P333+P313	皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
		P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄		P391	漏出物を回収すること。
		P501	内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に事業委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物
一般名	エポキシ系ライニング主剤
成分及び濃度または濃度範囲	

成分名	別名、略称等	CAS No.	濃度範囲	官報公示整理番号		化管法	毒劇法
				化審法	安衛法		
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	BPF型エポキシ	58421-55-9	40-50%	(7)-1285		非該当	非該当
酸化チタン	TiO ₂	13463-67-7	5-10%	1-558		非該当	非該当
二酸化ケイ素	シリカ、非晶質シリカ	60676-86-0	30-40%	(1)-548		非該当	非該当
含水ケイ酸マグネシウム	タルク、滑石	14807-96-6	10-15%			非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡する事。
皮膚に付着した場合：	汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。 皮膚に付着した場合、大量の水と石けんで洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合：	流水で数分間洗うこと。医師の診察を受けること。 眼球を傷つける可能性があるため、眼をこすらない。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡する事。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、乾燥砂等を使用すること。
使ってはならない消火剤	棒状放水(可燃性液体の飛散を招く可能性があるため。)
特定の危険有害性	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	安全に対処できるならば着火源を除去すること。 危険でなければ速やかに容器を安全な場所に移すこと。 放水により収納設備を冷却すること。
消火を行なう者の保護	防火服/防災服/耐火服/空気呼吸器等の装備を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏出した場所への関係者以外の立入りを禁止する。
適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行なう。
付近の着火源を速やかに取り除く。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化方法・機材

環境中に放出してはならない。
漏出液をすくいとり、またはかき集めて紙袋や容器に回収する。
残留液は吸収材(おがくず、砂、ウエスなど)に吸収させて、容器に回収する。
回収した漏出物は適切な方法で廃棄する(「13. 廃棄上の注意」を参照)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
使用中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
指定されたもの以外との接触、混合は避けること。

局所換気・全体換気

局所換気装置を使用すること
取扱い中または取扱い後は十分に換気し蒸気の滞留を防止すること。

安全取扱注意事項

使用前にラベルをよく読むこと。
使用前に取扱説明書をよく読むこと。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取扱説明書で指定されたもの以外を混ぜ込まないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
目、皮膚、あるいは衣類との接触を避けること。
屋外又は換気の良い場所で取扱うこと。
取り扱い後は手や顔を良く洗うこと。

保管

安全な保管条件

高温多湿を避け、室内の涼しく暗いところに保管すること。
換気の良いところに保管し、容器は密閉しておくこと。
横転等により、漏出させないこと。
消防法等の法規に従い、混載禁止物質との保管をしないこと。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

表面処理された鋼板、ステンレスあるいは厚肉なポリエチレン容器に保管する。

8. ばく露措置及び保護措置

成分名	安衛法 管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
ビスフェノールF型エポキシ樹脂			
酸化チタン		1mg/m ³ (吸入性粉塵)	10mg/m ³ (TLV-TWA)
		4mg/m ³ (総粉塵)	
二酸化ケイ素	3mg/m ³	2mg/m ³ (吸入性粉塵)	
		8mg/m ³ (総粉塵)	
含水ケイ酸マグネシウム		0.5mg/m ³ (吸入性粉塵)	
		2mg/m ³ (総粉塵)	

設備対策

局所換気装置等を使用して取扱うこと。
取扱い場所付近にシャワー、洗面台、洗眼設備等を設けること。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

呼吸器保護具を着用すること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	液体
臭い	特異臭
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点・初留点・沸騰範囲	データなし
引火点	251°C
自然発火温度	データなし
燃焼または爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	1.67g/ml(27°C)
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	125000~200000mPa・s(25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	室温、乾燥状態では安定
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触禁止物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

製品	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2(BPF型エポキシの情報から)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	区分1(BPF型エポキシの情報から)
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

製品	
水性環境有害性(急性)	区分2(分類された成分を加算して算出)
水性環境有害性(長期間)	区分2(分類された成分を加算して算出)
オゾン層への有害性	分類できない
BPF型エポキシ	
水性環境有害性(急性)	区分2(原材料SDSより引用)
水性環境有害性(長期間)	区分2(原材料SDSより引用)
オゾン層への有害性	分類できない

残留物/分解性	分類できない
生態蓄積性	分類できない
土壤中の移動性	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に事業委託すること。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	クラス9(その他の有害性物質)
国連番号	3082
国連品名	環境有害物質(液体)
容器等級	III

国内規制

陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報	航空法の規制に従う。

特別な安全対策

火気厳禁

15. 適用法令

消防法

指定可燃物 可燃性液体類
変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、労働基準局長通達)
メチレンビスフェノール型エポキシ樹脂中間体
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)
酸化チタン(IV)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

安衛法

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
酸化チタン(IV)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、執行規則第35条・別表第1の2第4号1)

海洋汚染防止法

ビスフェノールF型エポキシ樹脂

船舶安全法

有害液体物質(Y類物質)

航空法

有害性物質

その他の有害物質

16. その他の情報

参考文献

ACGIH(アメリカ合衆国産業衛生専門官会議)
SIDS
ICSC(国際化学物質安全性カード)
NITE 化学物質総合情報提供システム
JIS Z 7252/7253:2019
安全衛生情報センター
職場のあんぜんサイト

SDSについて

記載内容は現時点で入手できる資料、データなどに基づいて作成しており、新しい知見により、予告なく改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いを行なう場合は、その用途・用法に適した安全対策を講じ、自己責任の上、ご利用ください。本シートの記載内容は情報提供であり、製品の物理化学的特性、成分、危険有害性などを保証するものではありません。

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	エポグラスL 硬化剤
供給者の会社名称	株式会社 エヌ・ワイ・ケイ
住所	埼玉県蓮田市根金1689-1
担当部門	技術部
電話番号	048-766-1211
FAX番号	048-766-4790
緊急時連絡電話番号	048-766-1216

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	金属腐食性化学品	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分4
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)、区分2(全身毒性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水性環境有害性(急性)	分類できない
	水性環境有害性(長期間)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

上記に記載がない項目は「分類できない」または「分類対象外」に該当

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険	
H302	飲み込むと有害
H312	皮膚に接触すると有害
H332	吸入すると有害
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318	重篤な眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応をおこすおそれ
H370	臓器(呼吸器)の障害
H371	臓器(全身毒性)の障害のおそれ

注意書き	安全対策	対応措置	保管 廃棄
	P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。	
	P261	P260がある場合不要と第5欄にあり	
	P264	取扱い後は手や顔をよく洗うこと。	
	P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。	
	P271	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。	
	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。	
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	
	P301+P312	飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。	
	P301+P330+P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。	
	P302+P352	皮膚(又は髪)に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。	
	P303+P361+P353	皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水【又はシャワー】で洗うこと。	
	P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。	
	P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けるこばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。	
	P308+P311	直ちに医師に連絡すること。	
	P310	気分が悪い時は医師に連絡する。	
	P312	気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。	
	P314	特別な処置が必要である(この製品のSDSの注意書きを参照)。	
	P321	口をすすぐこと。	
	P330	皮膚刺激または発疹が生じた場合： 医師の診察/手当を受けること。	
	P333+P313	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 汚染した衣類を再利用する場合には洗濯をすること。	
	P362+P364	洗濯をすること。	
	P363	洗濯をすること。	
	P405	施錠して保管すること。	
	P501	内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に事業委託すること。	

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物
一般名	エポキシ系ライニング硬化剤
成分及び濃度または濃度範囲	

成分名	別名、略称等	CAS No.	濃度範囲	官報公示整理番号		化管法	毒劇法
				化審法	安衛法		
m-キシリレンジアミン	MXDA	1477-55-0	3-8%未満	3-2888 3-308	555	非該当	非該当 (規定濃度以下)
二酸化ケイ素	シリカ、非晶質シリカ	60676-86-0	50-60%	(1)-548		非該当	非該当
含水ケイ酸マグネシウム	タルク、滑石	14807-96-6	1-5%			非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡す
皮膚に付着した場合：	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を水またはシャワーで洗うこと。 多量の水と石けんで洗うこと。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：	皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。 流水で数分間注意深く洗うこと。 眼球を傷つける可能性があるため、眼をこすらない。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、ドライケミカル消火剤、耐アルコール消火剤、炭酸ガス消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤 特定の危険有害性

棒状放水(可燃性液体の飛散を招く可能性があるため。)

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

危険でなければ速やかに容器を安全な場所に移すこと。

火災の場合：区域から退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。

火災の風上に立つこと。

放水により収納設備を冷却すること。

消火を行なう者の保護

防火服/防災服/耐火服/空気呼吸器等の装備を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏出した場所への関係者以外の立入りを禁止する。

適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用する。

保護具を着用していない人を汚染領域(風下、低地等)から退避させる。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行なう。

付近の着火源を速やかに取り除く。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

上下水、河川への漏出を防止すること。

封じ込め及び浄化方法・機材

少量の場合、吸収材(おがくず、砂、ウエス等)に吸収させて取り除き、ウエス等でよく拭き取ること。

多量の場合、盛土で囲って流出を防止し、漏出したものをすくいと、またはかき集めて紙袋、容器等に回収する。

回収した漏出物は適切な方法で廃棄する(「13. 廃棄上の注意」を参照)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

使用中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。

指定されたもの以外との接触、混合は避けること。

局所換気・全体換気

局所換気装置を使用すること

取扱い中または取扱い後は十分に換気し蒸気の滞留を防止すること。

安全取扱注意事項

使用前にラベルをよく読むこと。

使用前に取扱説明書をよく読むこと。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

取扱説明書で指定されたもの以外を混ぜ込まないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

目、皮膚、あるいは衣類との接触を避けること。

屋外又は換気の良い場所で取扱うこと。

取り扱い後は手や顔を良く洗うこと。

保管

安全な保管条件

高温多湿を避け、室内の涼しく暗いところに保管すること。

換気の良いところに保管し、容器は密閉しておくこと。

横転等により、漏出させないこと。

消防法等の法規に従い、混載禁止物質との保管をしないこと。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

表面処理された鋼板、ステンレスあるいは厚肉なポリエチレン容器に保管する。

8. ばく露措置及び保護措置

成分名	安衛法 管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
m-キシリレンジアミン	-	-	1mg/m ³ Ceiling (STEL)
二酸化ケイ素	3mg/m ³	2mg/m ³ (吸入性粉塵) 8mg/m ³ (総粉塵)	-
含水ケイ酸マグネシウム	-	0.5mg/m ³ (吸入性粉塵) 2mg/m ³ (総粉塵)	-

設備対策

局所換気装置等を使用して取扱うこと。
取扱い場所付近にシャワー、洗面台、洗眼設備等を設けること。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

呼吸器保護具を着用すること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	懸濁褐色
臭い	刺激臭(アミン臭、アンモニア臭)
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点・初留点・沸騰範囲	データなし
引火点	150°C
自然発火温度	データなし
燃焼または爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	1.50g/ml(25°C)
溶解度	水に不溶、有機溶剤(芳香族炭化水素系、アルコール系)に可溶
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	40000~60000mPa・s(25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	室温、乾燥状態では安定
化学的安定性	長時間の空気との接触では変質する。
危険有害反応可能性	炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物等と反応する。
避けるべき条件	高温、湿気、直射日光、加熱
混触禁止物質	炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物等
危険有害な分解生成物	アミン類、アンモニア、燃焼等によるCO、NOx

11. 有害性情報

製品	
急性毒性(経口)	区分4(製品を構成する各成分の有害性情報から算出)
急性毒性(経皮)	区分4(製品を構成する各成分の有害性情報から算出)
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分4(製品を構成する各成分の有害性情報から算出)
皮膚腐食性/刺激性	区分1(MXDAの情報から)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1(MXDAの情報から)
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1(MXDAの情報から)
発がん性	分類できない

生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(MXDAの情報から)、区分2(MXDAの情報から)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

製品

水性環境有害性(急性)	分類できない
水性環境有害性(長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

MXDA

水性環境有害性(急性)	区分3(48hrEC50 = 15mg/L [オオミジンコ](甲殻類)、72hrEC50 = 14mg/L [セレナストラム](藻類))
水性環境有害性(長期間)	区分3(生物蓄積性が低いものの(BCF<2.7)、急速分解性がないことから(BODによる分解度:22%))
オゾン層への有害性	分類できない
残留性/分解性	難分解性
生態蓄積性	低濃縮製(分解物なし)
土壤中の移動性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に事業委託すること。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	クラス8(腐食性物質)
国連番号	2735
国連品名	アミン類又はポリアミン類(液体)
容器等級	III

国内規制

陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報	航空法の規制に従う。

特別な安全対策

火気厳禁
危険物第1類、第6類及び高圧ガスとの混載を避けること。

15. 適用法令

消防法

危険物第4類第3石油類非水溶性液体 危険等級III

毒劇法

非該当(規定濃度以下)

安衛法

名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)

メタ-キシリレンジアミン

名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

メタ-キシリレンジアミン

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

メタ-キシリレンジアミン

船舶安全法

腐食性物質

航空法

腐食性物質

16. その他の情報
参考文献

ACGIH(アメリカ合衆国産業衛生専門官会議)
SIDS
ICSC(国際化学物質安全性カード)
NITE 化学物質総合情報提供システム
安全衛生情報センター
JIS Z 7252/7253:2019

SDSについて

記載内容は現時点で入手できる資料、データなどに基づいて作成しており、新しい知見により、予告なく改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実用性を対象としたものであり、特殊な取扱いを行なう場合は、その用途・用法に適した安全対策を講じ、自己責任の上、ご利用ください。本シートの記載内容は情報提供であり、製品の物理化学的特性、成分、危険有害性などを保証するものではありません。
